



# 東京豊工会会誌

大分県立大分工業高等学校豊工会東京支部

# 50

発行日/令和3年(2021年)5月29日  
初回発行 平成6年(1994年)  
発行責任者/岐部寿則 編集/電気科幹事会  
連絡先・事務局 幹事長 守田晶一  
郵便 350-1115 埼玉県川越市野田町1丁目21-34

令和3年度東京豊工会総会  
令和3年7月3日(土) 14時～  
会場: アルカディア市ヶ谷

## 50号記念誌

\*\*\* 50号記念 特集記事 \*\*\*

1. 会員からの投稿コーナー
2. 歴代会誌編集者へのインタビュー
3. 東京豊工会「会誌」レビュー



2020年 体育大会 全校ストーム

### 目次

会長挨拶/令和3年度「東京豊工会 総会」のご案内……………	P1	毘沙門会/湘南会/霜月会/東京お化けの会/Rの会……………	P15
母校校長挨拶/本部長挨拶……………	P2	雷会/ホームページのPR/会員便り(電気)……………	P16
豊工会本部近況……………	P3	追悼・鷺見元吾さんを偲んで/物故者情報……………	P17
50号記念 会員投稿特集……………	P4～P8	R3年度年会費納入のお願い/R2年度年会費納入者一覧……………	P18
50号記念 歴代編集者インタビュー……………	P9～P10	会計監査就任挨拶/会員懇親行楽会の企画案内……………	P19
50号記念 過去の会誌レビュー(前篇)……………	P11～P12	住所変更時の連絡依頼/編集後記……………	P19
広告のページ……………	P13～P14		

# 会長挨拶 東京豊工工会誌50号発行に思う

東京豊工工会会長 岐部 寿則 (39R)



今年の東京豊工工会誌が「50号記念誌」となりました。

この発行の継続は、役員や編集者の努力だけでは成しえない事と心に刻んでおります。豊工会本部の歴代会長・歴代

学校長又本部役員の皆様には、

毎回の原稿依頼に対し、快く本部活動や学校の近況を寄稿して頂き、OBとして懐かしく又楽しく拝見させて頂いております。

各号の会誌内容は、東京豊工会の活動報告及び次年度の活動方針等がメインですが、編集に当たりましてはそれにも増して、東京豊工工会員の皆様からの各部会の報告や、「私の近況報告・私の趣味・私の仕事・我が妻を語る・我が故郷を語る・会員電子メールインタビュー」等々、幅広く様々な情報を皆様にお伝えすべく心掛けて参りました。

発行当初は年1回の発行で、B5サイズでスタートしました。4号からA3に変わり5号から年2回の発行としました。18号よりA4の冊子に変わり、42号(2015年)より全面カラー化、46号(2017年)から再び年1回の発行となり現在に至っています。

年2回発行を希望され、拝読することを愉しみにされていた会員の方には申し訳ありませんでした。会員の平均年齢も上がり、会費収入や寄稿の減少等も影響しておりましたのでご了承願います。

また50号発行記念の記事として、会員の皆様からの投稿特集のコーナーを企画し、役員の方よりご協力を得ることができました。紙面を借りて改めて感謝申し上げます。

昨年はOlympic イヤーで湧き上がる関東圏でしたが、

残念ながら新型コロナで全て沈んでしまいました。東京豊工会も右倣になり残念でした。今なお全世界がこのウイルスを退治出来ない状況ですので、いかに怖い病原菌かと痛感しています。

「花疲れ」という言葉を或る文で見つけました。「花見に出かけて人混みに酔ってしまう、あるいは花見酒を飲みすぎる、あれもこれもでくたびれ果てた」状態をいうとの事です。現在の新型コロナウイルスで感染拡大を防ぐという観点からすれば、はなはだ相応しくない言葉です。「自粛疲れ」「とことんステイホーム」「マスク着用食事」と、今はいろいろやりすぎでまさに「花疲れ」の状態に思われます。まだまだ負けられませんので、家の近くの軽い散歩で程よい疲労感を味わい、深い眠りにつく、これが一番でしょうか。

今年は7月3日(土)アルカディア市ヶ谷で「総会・大同窓会」を計画致しましたが、現状を鑑み役員改選の年でもありますので「総会」のみの開催と致しました。席の割り振りや人数制限等も会場側から提示されていますが、今後の活動方針等会員の皆様のご意見を聞かせて頂き、役員一同めげずに活動を持続させてまいります。会員の皆様には御参加の程宜しくお願い致します。

平成13年電気科卒の内川誠一選手が関東に帰ってきました。平成21年8月25日横浜スタジアムで78名の豊工会の応援観戦会が行われ、試合終了後観覧席まで来て握手やサインを頂きました。今後の活躍を期待すると同時に応援方お願い致します。

東京豊工会の皆様健康に留意されまして、お会い出来るのを愉しみにして居ります。今後とも皆さまのご支援ご鞭撻を宜しくお願い致します。



## 令和3年度「東京豊工会 総会」のご案内

今年は2年ぶりに会員の皆様との交流・懇親の機会を計画してまいりましたが、未だに新型コロナの収束が見通せません。感染拡大防止の観点から飲食を伴う多人数での会合は回避するべきと判断し、例年の総会後の大同窓会(懇親会)は実施致しません。

なお総会は以下の日時で実施致しますので、宜しくお願い致します。

日時：令和3(2021)年7月3日(土) 14:00～

会場：アルカディア市ヶ谷



こんにちは、大変ご無沙汰しております。コロナ禍の令和2年度が間もなく終わろうとしています。岐部寿則会長さまを始め、東京豊工会の皆さま方には、いつも大変お世話になっております。首都圏4都県では、現在も緊急事態宣言が続いておりますが、お元気でお過ごしでしょうか。

本校では、先日の令和3年3月1日（月）、令和2年度卒業式を無事終了しました。昨年に続き一家族一名の保護者参加に限定しての卒業式となりましたが、来賓代表として朝来野雅之<sup>あさくのまさゆき</sup>PTA会長からの祝辞、磯野蘭夢<sup>いそ</sup>生徒会長の送辞など、卒業生の門出に「はなむけの言葉」を添えることができました。また、定時制教育振興会の表彰式・記念品贈呈式の様子もホームページにアップしておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

さて、この4月から生徒の学校生活及び教育活動に大きな変化があります。一つは、自転車通学生のヘルメット着用が義務化されることです。昨年12月の県議会において、「大分県自転車の安全で適正な利用等の促進に関する条例」が制定されました。この背景には、自転車事故に伴う高額賠償事案が社会問題化していることや一昨年の県内高校生による歩行者との衝突死亡事故などが起因となっています。本校でも、1年生の自転車事故の多さが目立っており、命を守るためのヘルメット着用が通学の必須条件となります。もう

一つは、政府も推し進める「GIGA スクール構想」（大分県版）により、生徒一人一台端末（ipad+ キーボード）の貸与が始まることです。コロナ禍のオンライン学習に備え、計画を2年前倒して配備されるものです。また、文部科学省による職業系専門高校におけるデジタル化（「スマート専門高校」の実現）に向けた産業教育装置の整備を目的として、県内の工業系高校10校すべてに「3D プリンタ」を配備するほか、工業系高校だけで総額5億円もの予算をつぎ込み整備する計画です。これまでと全く正反対の早急な配備の動きに大きな戸惑いも感じていますが、教育現場の最新デジタル化産業教育装置の充実は大いに歓迎すべきことです。

このように変化の激しい教育現場ですが、今年11月には創立120周年記念事業も計画されております。東京豊工会の皆さま方には、引き続き母校へのご支援をお願い申し上げ、近況報告とさせていただきます。



令和2年度 卒業式

## 豊工会本部 会長ご挨拶

豊工会会長 赤嶺 昭 (41M)



豊工会入会式 会長挨拶

東京豊工会の皆様こんにちは、お元気でしょうか。日頃より豊工会の発展にご尽力頂き、ありがとうございます。昨年は新型コロナウイルスの影響で大変な年になりました。

本部総会、支部総会すべてが中止になりました。会員の皆様にお会いできず、大変残念でした。

東京豊工会 会誌50号記念誌発行 誠におめでとうございます。会員の皆様の努力の結晶に、心から敬意を表します。

豊工会も今年で発足112年になりました。これも会員の皆様方のご協力の賜物です。ありがとうございます。

す。また、今年は母校創立120周年です。11月に記念式典、記念行事を行います。この節目の年に会長として臨ませて頂きますこと、本当に光栄に思います。

令和3年2月26日 母校にて、今年度卒業する278名の入会式を行いました。豊工会の新しい会員の誕生です。とても嬉しく思います。「諸君は今日から伝統ある豊工会の会員です。社会に出たら『私は大分工業高校の卒業生です』と、胸を張って言ってください。私達先輩が必ずサポートします」と励ましたので、会員の皆様よろしくお願い致します。

今年の就職状況は、県内108名 九州33名 関東19名 中部7名 関西11名 中国7名です。豊工会の発展には会員の増強が至上命題です。新会員の獲得宜しくお願い致します。最後に東京豊工会の益々の発展を祈念して 記念発行の挨拶と致します。ありがとうございました。

## 豊工会本部 事務局便り

東京豊工会の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また平素より豊工会活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東京豊工会会誌が、初号を1994年発行し今回50号の記念号とお伺いいたしました。誠にありがとうございます。会誌発行に関わられました会員皆様方のご苦勞はいかばかりかと拝察いたします。会誌は、東京豊工会員のみならず全国で活躍する大分工業同窓生の「繋がり」「絆」だと思います。

昨年から全国で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、本部総会をはじめ県外支部総会、大分県内の支部総会・企業支部の総会もすべて中止となり、本部事務局だよりとして皆様方にお伝えできるものが今年は開催出来ませんでした。

新型コロナウイルスの影響により、今年は就職試験が一ヵ月遅れ、本校の一大イベントである体育大会もひと月遅れの11月の開催となりました。

した。感染防止の観点から、「芋虫の旅行」「ガチョウと亀」「馬とタコ」等の伝統競技は中止となりましたが、各科対抗による大工魂のぶつかり合いは例年と変わらないものとなりました。(写真参考)

2月26日に、豊工会入会式を行い卒業生278名が新たに同窓会員となりました。当日は本校の創立記念日でもあり、記念すべき120回目の創立記念日を迎えることとなりました。

2021年11月6日(土)に本校体育館で創立120周年記念式典を行い、夜には祝賀会を行うことを計画しております。新型コロナウイルスが収束し、式典や祝賀会が開催できることを願っております。

皆様方も時節柄御自愛のほど、切にお祈りいたします。

豊工会本部事務局  
専務理事 小笹修広 (54C卒)

### 「2020年 体育大会より」



機械科



電気科



電子科



建築科



土木科



工業化学科

この度の会誌 50号記念号の発行に当たり、会員の皆様からの投稿特集を企画しました。各科の役員（副会長）に人選をお願いしました所、合計 14 名の方々に寄稿して頂きました。現役当時のエピソードやリタイア後の生活、趣味や旅の思い出等々、これまで聴けなかった会員の方の貴重な体験談・人生訓・健康法など、新鮮な発見や驚きがあります。（今後も「会員便り」として、皆様からの投稿を募集掲載いたします。内容の如何に拘わらず、お気軽に皆様の声をお寄せください。）

## 世界の親切な人たち

### 43A 長木正次さん

妻と二人で、車でマレーシアに行った。1997年頃のことなので治安が悪く車を駐車していてタイヤが無くなった等の話を聞いていた。目的地はかなり遠いマレーシアの軽井沢と言われるカメロンハイランまで行ったのだ。ここでの観光を何事もなく終えたが、夕方近くになっていた。ホテル予約のクアラルンプールは超高層ツインビルがありどこからでも見える。途中で夜になってしまったが超高層ツインビルが見えてきたため高速を降りた。しかし高速の降りる場所を間違え町並みがなくなり、地図と道路標識を見比べながら進んだが、どの標識も「JALAN-JALAN」ばかりで、どこに居るかさっぱりわからない。街灯がないから真っ暗なのである。明かりが見えた、集会場でムスリムのお祈りが終わったところだった。藁にもすがる思いでクアラルンプールへの道を尋ねた。相手が運よくタクシ

ーの運転手で案内してくれるとのこと。一抹の不安はあったが案内してもらうことにした。タクシーの後ろをついて行きホテルの前まで案内してくれた。運転手にお礼をしようとしたが断るため、タクシーに乗った分だけと少しのお礼をした。治安が悪いと聞いていたので、相当な不安がよぎったが、出会った人が親切な人で助かった。

その他にも、インドネシアのホテルに忘れ物をしたのが保管してくれたり、マレーシアのデパートでパスポートを落としたが届けてくれた等、今までいろんな国に行ったが、どの国の人も噂と違い親切にしてください助けられた。



富士山頂奥宮

## 60 有余年の変遷

### 34C 染谷武雄さん

昭和 34 年 4 月東京生活（帝都高速度交通営団に入団）が始まりました。

此の頃の土木（都市土木とします）は、開削工事が主体で土留め資材は木（板・尺角材）でした。鋼材はレール形状の主柱と短尺の鋼鉄板位で、溶接 H 鋼が生れたのは 37 年頃からです。

地下鉄路線が銀座線と丸の内線（池袋まで）で、ボックストンネルの土被りは 3 m 位で、短尺土留め主柱で十分でした。唯、国会議事堂地下区間のみ半円シールド工事で施工されました。引き続き地下鉄工事は、荻窪線（新宿～荻窪）、東西線、日比谷線と進行していました。（都営地下鉄工事も併行しています）

私が営団在職中に東海道新幹線の開通、東京オリンピックの開催等、大きな社会事業が動きました。（この間、私は夜間大学を卒業しました）

新卒者としてこの頃、PC 構造（PC 橋＝直線ピアノ線使用、PC タンク＝水道水槽等で円形にピアノ線利用）が動き始め、私は円形工法施工会社（極東で 1 社のみ）に入社し、東京都・兵庫県・大阪府・・・を水槽タンク工事従事中、身体事故に遭い設計業務に転向しました。

その後宅地造成設計（60ha）、尾道ルート四国横断道、

小牧インタ改良設計等の道路設計及び耐震構造改修の現場監理、都営地下鉄大江戸線の設計と青山駅・六本木駅工事の建設監理（大型シールド工事も含む）に携わりました。

下水道幹線・面整備等の設計・監理に携わっている間に、土木工事・設計は大型化され大型シールド、大型橋梁（吊橋・斜張橋・PC 橋）化され、舗装材の研究によりその材質も向上しました。（東京オリンピックマラソンの温度低下・雨水の地下浸透で地下酸欠の縮小）。

並行して、現在は構造物の大型長期利用経過で補修再構築の時代に入っています。土木構造等の長い間に変遷していますね。

此の様に長い期間に、大分工業関東同窓会も変遷がありました。私が参入した頃は、大御所先輩の個人資金が基で運営されていました。新会長人選が難航時に、大先輩の一法師氏（故人）から「これから先の同窓会をお願いできる方はこの人しか居らっしゃらないので一緒にお願いに行こう」で、3～4 回お伺いして、谷脇先輩から「次の 5 項目を会が受け入れられるなら受託しましょう」から、現在の東京豊工会運営の基本となりました。（一部変更・削減はあります）また、本同窓会同意で大分県他高校の合同会も開かれるようになりました。同窓会にも変遷があり成長続けています。

私も変遷が有り、今働いている仕事を続け乍ら、今後とも皆様と同調して行きたいと思えます。

## リタイア後の生活

### 31E 江坂顕二郎さん

昭和31年電気科卒、佐賀県出身の江坂顕二郎と申します。

卒業して今年で65年、高校生活は僅か3年間ですが、今も同窓会の繋がりのあることは大変感謝なことです。卒業後は東京電力に入社、石炭火力を皮切りに発電部門に十年、転勤で新鋭火力と呼ばれた東京湾周辺発電所の建設・補修部門の仕事に従事し、その間、転勤が6回、単身赴任生活も約6年経験し、家族にも多大な負担をかけました。しかし、多くの職場の人たちの知己を得てその中の幾人かとは今も年賀状のやり取りをしています。

定年退職後は関連企業で5年勤務の後、2000年に完全リタイア後は好きな音楽と絵の世界にのめり込んだ感じです。公民館でのシニア向けキーボード教室に始めて、混声合唱、英語の歌の会、ことぶき大学美術学科入学で2年間、油彩画の学習とハーモニカクラブ

立上げ、卒業後は施設訪問演奏と絵の同好会での作品展の毎年開催等、長年に亘り続けられたのも夫々の会での良き人の繋がりが与えられたお蔭だったと思うこの頃です。しかし、それらも昨年来のコロナウィルスの拡散で殆どの活動を休止せざるを得なくなり、在宅時間の多くなった最近専ら、パソコンに保存して来た旅の写真、作品展や中高生時代の同窓会写真等をDVDに取込み、思い出を共有出来たらと、親しい友人たちに贈ったりしています。豊工会の会合も勿論入れました。2月に入りコロナの新規感染者は減少気味ですが、この50号の発行される頃には、緊急事態宣言が解除され、同窓の皆様とも心置きなくお会い出来るようにと願っております。



「31E 関東地区同窓会」2017  
31E 関東地区同窓会 2017

## 私の生きがい

### 34E 安部駿太郎さん



『何かに熱中し、生き甲斐を感じる日々を送りたい』と思っています。

私は電機メーカーに勤務し65歳で退職しました。退職後をどうするかは誰もが悩む問題ですが、私の周りには人生の達人とも言うべき先輩が多く居て、お手本に事欠くことは有りませんでした。このような方々からの影響もあり、水彩画とウォーキングを退職後のワークに決めました。

退職から数年後、軽い気持ちで引き受けたマンションの管理組合と自治会の仕事に10年近くを費やすことになってしまい、漸く面白味を覚えていた水彩画を止めてしまいました。思うようには行かぬまま今年1月、節目と考えております傘寿(80歳)を迎えました。

80歳からの人生はエピローグとっております。これからは公的なことは控え、ウォーキングを続けながら水彩画を一から勉強し直すことに



白川郷(水彩画5号 2009年5月)

しました。その途中で、「ああ、やっけていて良かった！」と感ずることが有ればそれで十分です。

ウォーキングは13年目に入りましたが、早朝にスタートして清浄な空気に浸るのを楽しんでいます。10年程前、ウォーキング中にJAL国際線のOBさんに出会い、同年代・異業種の友達を得ました。これも良かった！ことのひとつです。

## 現役時代に感謝

### 47E 竹下隆三さん



私は昭和47年電気科卒業の竹下と申します。

メーカ系列の工事会社に入り、原子力発電所電気系設備の工事設計・工事管理に従事してまいりました。定年後の雇用延長を含めてほぼ半世紀になろうとしております。

昭和47年の社会環境は、前年のドルショックの影響で大手メーカを始めとして、多くの企業が採用控えや取りやめを実施した寂しき門でした。

そんな中、担任の先生には新興産業である原子力事業を担う会社を紹介いただき、今日まで勤められたこと、大変感謝申し上げる次第です。



宮崎県青島神社にて

国策であった原子力事業も災害や事故、廃棄物処理等の問題からエネルギー確保、地球温暖化への貢献度を天秤にかけ賛成・反対の議論が絶えませんが、今後

の展開は「正確・勤勉・健康」を支えに頑張っている後進に託して、そろそろ趣味の旅行や温泉三昧の生活に浸りたいと思っております。

## 新スポーツ「バドポン」と野菜作り

38K 岩田政彦さん

昭和38年度工業化学科卒の岩田です。

化学科では小河清三先生に三年間担任して頂きました。帝人岩国の研究所をスタートに中央研究所、本社と医学系の仕事を中心にを行い、2005年に退職。現在は千葉県の成田に近い酒々井町に住んでおります。退職直後は地元の人達との交流もそれまであまりなかったことから、町で薦めていた順天堂大学のカリキュラムの「ボディマネジメントスクール」を受講し、終了後、新スポーツの「バドポン」チームを発足させ、16年になります。バドポンとは卓球のラケットを一回り大きくしたラケットでバドミントンの羽を打ち合う競技で

す。ルールはバドミントンと同じです。瞬発力と体力が必要とされます。週二回の練習ですが、なかなかハードです。家庭菜園もやっていますが、70坪の畑で年間、30種類ほどの野菜を作っています。化学に通ずるところがあり、これが楽しみです。取れたての野菜の鮮度を食卓に乗せるのは幸せです。コロナで騒がしい世の中ですが、菜園では気にせず作業ができます。農工会の皆様、健康には十分気を付けて顔をまた合わせるまで楽しみにしております。



## エージシュートを目指して

42K 但馬三二さん



初めまして、今回初めて寄稿する事に成りました。若手の但馬三二です。と言っても今年既に年男になりました。72才です。100歳まであと28年あります。今年の4月から本当のリタイヤになりました。28歳から43年会社を経営し、1年間相談役をしてやっと終わることが出来ました。全てから解放され自由の身となったわけです。ストレス発散のゴルフをもっと楽しんでエージシュートを目指したいと考えています。気力、知力、体

力も復活（鍛えなおすという意味）させたいと考えています。現にゴルフの距離も飛ぶようになってきました。

考えた通りにスイングができればきっと良いスコアが出るはずだ！ミスが少なくなるはずだ！その為には体感を鍛え、無理のないスムーズなスイングができる様にします。

時間はたっぷりあります。日本全国を旅して新しい発見を楽しみたいものです。健康に留意し人生を楽しみたいものです。昨年コロナ一色になってしまいました。年を取ると体力、気力、免疫力も落ちてきます、十分なコロナ対策をとって100歳まで生きましょう。

いや、命ある限り人生を楽しみましょう。

## 毎日をポジティブに

50M 山元康史さん



昭和50年に航空会社（ANA）に入社（ANAでは最後の高卒）し平成24年に55歳で早期退職した山元です。ANAには整備要員として入社しましたが、整備訓練終了後は部品を管理（購入、修理、時間管理、空港への部品配置など）する部門に配置され、部品の面から航空機の安全性、定時性を支えました。

当初のANAは国内線が主でしたが急速に海外進出が始まり海外出張が多くなり、英語が出来ない私は大変苦労した経験から息子には英語は勉強しておけよと

すっぱく言ったことを覚えています。

退職後は自身の向上のために心理カウンセリングおよび介護（実務者研修）を学び、親の介護およびその後の仕事に生かすことができました。

現在は老人ホームにて営繕、運転手の仕事で入居者に楽しい生活を送ってもらえるよう励んでいます。何かと我慢を強いられるコロナ禍の中ではありますが、皆さまもポジティブに毎日を送ってください。



## サッカーと共に

### 62M 長谷部真也さん



この度は東京豊工会「会誌50号記念号」発刊おめでとうございます。

昭和62年機械科卒業の長谷部と申します。私が大分工業高校に進学した理由は「全国高校サッカー選手権」に出場することが目標でした。結果的には私の在学中に出場することはできませんでしたが、3年間監督や部員の仲間たちと一つの目標に向かって厳しい練習に耐え、努力した思い出は私のその後の生き方に大きな影響を与えています。卒業後は、当時日本リーグだった日本鋼管株式会社（現JFE）に入社しサッカーを続け、現在は横浜市の株式会社テック（総合建設業）に勤務しながら週末は地元の少年サッカーチームの指導をしています。また、ここ数年は同年代の高校時代のライバル校でもあった中津工業高校OB（現中津東）

と交流試合も開催しています。

やはり、私自身がサッカーを通じて様々な仲間と出会い、考え方を学び、現在もサッカーに関わることができていることに感謝しています。

今後は、サッカーを通じて一人でも多くの子供達がサッカーをはじめスポーツが楽しくて熱中するよう環境を作っていくよう微力ではありますが、地域で社会貢献していきたいと考えています。今後も東京豊工会の発展を祈念しております。



昭和62年 全九州高等学校サッカー選手権大会



## 私の歩いた道

### 33R 高瀬拓士さん



昭和33年、電気通信科を卒業し「反省はしても後悔はするな」をモットウに生きた63年の人生に悔いはない。私を知る友は皆、私の人生を波乱万丈というが私には実に思い出多い充実した人生だった。大分工業高校卒業生で有ることを誇りに82歳を目前にした今もなお夢を追っている。「思い出は生きた証、そして夢は生きる力」だ。

学ぶ機会を求めて首都圏、日立へ就職。入社3年目に全社で40人選抜の社内教育機関電子工学科入学で母校のレベルの高さを実感した。ここでは仕事に代わって授業料なし、給料、賞与をもらい、専門学科は日本を代表する東工大、文系学科は横浜国大の教授陣を社外講師による大学教育、さらに研究科に進み、学費だけでなく通学費も日立負担で東京大学工学部研究生へ。職場復帰して25歳で主任、神代の時代のコンピュータ

開発へ従事。33歳の時、ドルショックで倒産寸前の取引先から日立への経営支援要請を受け出向、ついでに日立退社。悪戦苦闘し経営を立て直した40歳の時、社長命令で単身渡米。言葉も知識の準備もなく這いずり回るようにして会社設立、顧客開拓、輸入販売、工場建設、製品開発から経営を担当、通算6年で社員110人の電子部品企業に育成。軌道に乗った時、突然の要請を受けて退社後15年ぶりに日立グループへ出戻り、現在勤める日立の孫会社を独立させ、「当社の常識は一般企業の非常識」と公言するソフトウェア会社に育成、現在若い経営者育てを楽しんでいる。



高瀬さんの会社のホームページアドレスです ⇒⇒⇒  
<http://www.nck-tky.co.jp>

## あれから60年

### 35R 須賀昭典さん

別府湾の入り口、国東半島の首根っこ。坂の多い静かな城下町です。城山に聳えているのが杵築城です。敷地内の「杵築中学校」卒業後は「杵築高校」に行くものと周りからは思われていました。しかし私は、日豊本線による汽車通学と蛇腹の学生帽が少年時代の夢で

した。

憧れの国東工業を卒業して、急行列車「高千穂号」で24時間、東京に出ました。社会生活の第一歩は完成したばかりの東京タワーの真下でした。



草津温泉の料亭旅館  
何方でもご利用ください。

当時の都内は、東京オリンピック（昭和39年）のための首都高速道路建設、地下鉄工事等で雑然とした環境でした。

都内を離れての転勤先、鹿島臨海工業地帯は、火力発電所建設のクレーンが乱立していました。また、信州松本は北アルプス槍ヶ岳からの河川を活用した水力発電所。首都圏の電力を支える電源開発現場で活気に満ちた職場でした。

入社の際は真空管、その後トランジスタ、デジタル技術、パソコンの発達、インターネットの普及、スマートフォンへと進化しました。

約60年前、母校の恩師、今村先生曰く「君た

ちが大きくなった頃には掌でテレビが見られる・・・」印象的で今でも鮮明に覚えています。

東京豊工会会誌、第50回発行に際し、思うこと「あれから60年」でした。



杵築城（木付城）



伊勢志摩の旅

## 英国に係って50年

### 37R 荒川英敏さん



思えば1970年に日立のロンドン駐在員として渡英、以来現役時代21年間、定年後8年間、累計29年間の英国滞在となりました。長期滞在以外でも英国への往来は毎年続き、2020年で英国に係って50年となりました。英国生

まれの長女は英国人と結婚し、ロンドン在住で3人の子育て真っ最中、長男はロンドン勤務の後、東京勤務となり既に20年、昨年はコロナ禍で渡英が困難となり、孫たちに会えずじまいでしたが、幸いオンラインビデオのSKYPEで東京とロンドンを結んで、子供家族と毎日曜日の家族通話で孫たちの成長を映像で見るのを楽しみにしています。

41歳の時に英国の電機メーカーに勤務、現役の最後は米国の電機メーカーの日本法人に勤務、定年後に省エネコンサルタント業を起業、欧州の新しい省エネ技術や設備を日本の業界に紹介したり、年の半分を東京で過ごし、残りの半分をロンドンで過ごす生活が、16年間続きました。ロンドン滞在中は、英国やEUの最新の省エネ事情や生活の一端をロンドン便りとして発信しています。コロナ禍の収束後には再渡英し、体力が続く限りコンサルタント業を続けようと思っています。



ロンドンオリンピック2012  
なでしこジャパン決勝戦見学

## 体力維持の為に

### 36TM 佐藤徳治さん



私は大分工業高校を卒業後、東京に来て60年以上になりまして、現在81才になりました。100才までは頑張ろうと生きてきましたが、最近では体力が落ち、

足が思うように動かず、つえをつけております。

思い起こせば、①トレーニングジムで体をきたえ②サウナ付き風呂屋は常連で③カラオケスナックでは(四つの会)毎週、大きな声を出して歌ってきました。

現在は「コロナ」の関係で、①～③はすべて休んでいます。今、頑張っているのは、老人介護施設に通って、体の現状維持につとめています。

介護施設「ツクイ」は、全国（沖縄から北海道）に2000カ所を運営しており、年中無休でやっております。

私の家の隣に昨年春出来ました。歩いて一分の所です。（東京都三鷹市新川三丁目）。施設へは週4日行っています。朝から体の体操、機能訓練では動きを強くする足の上げ下げ、階段の上り下り、前後に5回歩き同じく横歩きを5回繰り返す。両足にゴムまりを挟んで30秒を繰り返す。その後30秒間足の指上げ、かかとの上げ下げを30秒間、自転車こぎも10分程度。その他の場所では、司会者による機能訓練が繰り返される。

また、体の悪い所には熱を当てて温める。その後は風呂に入って体を洗う。昼食の後、午後2時からカラオケ（約10～20曲）、テレビは3台有り1メートル幅。会場は60人まで収容出来る施設で、昨年出来た施設。

歩け歩きの体操もやります。外出は花見を多摩川周辺へ1～6km、車で行きます。（年に数回）。

# 「50号特集」 歴代編集者に電子メールでインタビューしました



## インタビュー内容

- ①氏名、卒年・卒業科、出身地・出身中学②担当時期・発行号③体裁(版・頁数)、発行回数・部数  
④手順、原稿収集方法等⑤創意工夫点、所感等⑥会誌の今後について⑦近況について⑧メールアドレス

① 氏名	守田 晶一氏 (モリタ ショウイチ) 昭和42年・建築科 別府市・別府市立北部中学校		荒川 英敏氏 (アラカワ ヒデトシ) 昭和37年 電気通信科 別府市・山の手中学校	
② 担当時期	平成13年(2001)12月～平成17年(2005)5月 第15号～第22号		平成17年(2005)12月～平成21年(2009)5月 第23号～第30号	
③ 体裁部数	タブロイド版(A3サイズ)・4頁 年2回発行(6,12月) 部数 約1200部		A4版 12頁 発行2回/年 部数 約800部	
④ 編集手順等	学校への取材・各科の事業開催計画による実施状況・関連団体の開催時の模様等、学校の行事や出来事を通じて学生時代を思い出してなじみのある紙面にしました。 広告については広告の担当が集めていました。		<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿や広告原稿を関係者にメールで依頼、返信も写真を含めて必ずメールでお願いした。</li> <li>表紙から最後のページまでのフォーマットを自分で作り、それぞれのページに受信した原稿類を貼付けて体裁を整えて行った。</li> <li>印刷業者に整った総ページを送信し、何度か体裁の修正をメールでやり取りし、仕上げて行き、最終版をメールで確認したうえで、印刷部数を指示して完成となった。</li> </ul>	
⑤ 工夫改善・所感	タブロイド判かA4判への変更をした点。 その時に表紙を柔らかいものにして親しみを持たせた。 出来るだけ馴染みのある記事にする為に皆様に記事を載せて貰った。		<ul style="list-style-type: none"> <li>編集担当になってから、直ちにカラー化を検討したが、予算的にどうしても合わず断念した。</li> <li>一旦フォーマットを決めてからは、編集作業は比較的容易に行うことが出来た。</li> </ul>	
⑥ 今後について	出来るだけ多くの人の意見を会誌に乗せて多くの人に読んでもらえるような会誌にしたい。		<ul style="list-style-type: none"> <li>編集作業は原稿や広告集めや体裁を整える作業と大変ですが、カラー化され立派な会誌に仕上がっていますね。ご苦労様です。</li> <li>この素晴らしい会誌を東京豊工会員だけでなく、大分県人会本部、市町村の東京事務所や他の高校の同窓会本部等にも配布をされては如何でしょうか。</li> </ul>	
⑦ 近況等	卒業してよりずっと川越市に住んでいます。川越は城下町で落ち着いた雰囲気のある街ですが、最近は観光地となり騒がしい街になりました。 会社は一般企業に3年、その後公務員になり課長職で定年退職し更に建築の検査会社に再就職検査員として9年間勤めて検査会社も退社して現在は無職です。		<ul style="list-style-type: none"> <li>住まいは東京都港区芝のマンションです。近くに芝公園、東京タワー、増上寺があり都心にしては緑が多く、コロナ禍の最中、運動不足解消に毎日の散歩を楽しんでいます。</li> <li>一昨年帰郷した故郷別府市朝見の変わらない佇まいであったが、目立つ空き家に激減した住人の状況を見て、学生時代に国語教師の川島先生から教わった、「少年老い易く学成り難し、城春にして草木深し、光陰矢の如し」の漢文を思い出しながら、卒業後58年、喜寿を迎えた自分に年月を感じました。</li> <li>活動はNPO法人、二つのボランティア会合にコロナ禍の最中、オンラインビデオ ZOOM で参加しています。</li> </ul>	
⑧	morixmori@tbz.t-com.ne.jp		hide.arakawa@gmail.com	

① 氏名	三重野 敏行氏 (ミエノ トシユキ) 昭和 38 年・電気科 東国東郡 竹田津中学校	
② 担当時期	平成 21 年 (2009) 12 月～令和元年 (2019) 5 月 第 31 号 ～ 第 48 号	
③ 体裁部数	A4 版・12 頁、年 2 回発行 (5, 12 月) 部数： 2009 年時：約 1200 部 2013 年時：約 700 部 2019 年時：約 650 部	
④ 編集手順等	私が担当したのが 31 号からで、既に形作られた構成に添って作成を始めました。原稿は 3 ヶ月前から掲載内容を検討し、原稿投稿をお願いして 1 ヶ月前に凡その紙面構成が出来て、役員会での添削を得て印刷という手順です。原稿依頼者の選出は役員会全員の協力得て会員へお願いするという事です。今も基本は変わらない。	
⑤ 工夫改善・所感	会誌は会員同志の絆を結ぶ重要なツールであり、会員に直結した情報の提供と、会員と親しめる会誌にと、「会員電子メールインタビュー」を導入しました。 会員の高齢化対応と、20 代～50 代の若い世代の方向けの会誌にと、掲載内容の工夫、文字・記事見出しを大型化して写真を必ず入れました。投稿者の氏名、科別卒年も大きく記載し、読む会誌から見る会誌へと、2016 年の 42 号会誌から、「カラー化」にしました。一方年 1 回の発行としたことから、内容の充実化として、12 頁から 16 頁に致しました。2009 年から 2019 年の 10 年間で 18 回の編集に携わり、投稿頂いた多くの皆様と役員各位の甚大なるご協力に御礼申し上げます。もっとも感謝すべきは、お読みいただいた会員皆様で御座います。有難うございました。	
⑥ 今後について	東京豊工会の発展と共に、会員の情報誌として、多様な記事でさらに楽しめる会誌として継続されることを期待します。	
⑦ 近況等	今年 77 歳となりますが、いまだ東京豊工会顧問職で役員会に在籍させていただいております。また仕事として電気保安会社に所属して「電気保安業務」に従事しております。また暇を見つけて、カメラを提げて風物の写真撮影を楽しんでいます。皆さん、健康優先で元気に人生を楽しみましょう。また企業などの活動で活躍されている皆様のご発展を祈念申し上げます。	
⑧	mienot@nifty.com Tel 070-6511-2746	

## その他の編集担当者一覧

担当者名	発行号	発行時期	備考
広報委員会 委員長：森崎重喜氏 (34K) 他 計 8 名	創刊号	平成 6 年 (1994) 6 月	編集後記 後藤有三氏 (33M)
広報委員会 同上 計 9 名	第 2 号	平成 7 年 (1995) 5 月	編集後記 森崎重喜氏 (34K)
不明	第 3 号	不明	
広報担当 立川貴士氏 (32K)	第 4 号 ～ 第 10 号	平成 8 年 (1996) 5 月 ～ 平成 11 年 (1999) 6 月	
山崎弘幸氏 (39M)	第 11 号 ～ 第 14 号	平成 11 年 (1999) 12 月 ～ 平成 13 年 (2001) 5 月	広報誌担当：機械科
竹中重信 (45E)	第 49 号 ～	令和 2 年 (2020) 5 月～	

# 東京豊工工会 会誌レビュー (前篇)

★ 50号発行の特集記事の企画として、創刊号から49号まで前編(創刊～25号)と後編(26号～49号=会誌51号に掲載予定)に分けて、その歴史を振り返ってみました。

発行号	発行日	発行責任者 編集担当者・体裁	記事の概要(話題・人物・イベント他)
創刊号	H6(1994)/6/18	谷脇福穂(26A)・広報委員会(委員長:森崎重喜)・B5版20頁白黒、広告4頁	会誌発刊への記念投稿:豊工工会長 児島 武氏(28M)、大阪支部会長 宮田次善氏(27K) 参議院議員 長谷川清氏(27E) 豊工工会東京支部の歴史(18M:大嶋計美氏)、バスで母校甲子園応援、バレーボール部全国3位(第25回春高バレー)、豊工工会倶楽部紹介(30R:岸本友裕氏)
2号	H7(1995)/5/10	B5版24頁、広告4頁	卒45周年同級会フルムーン珍道中記(26A:佐藤守利氏)、寄稿(27E:長谷川清参議院議員)、豊土会の歴史(27C:一法師信夫氏)
3号	不明		
4号	H8(1996)/5/18	A3版縦4ページ	賀詞交換会開催報告、春高バレー・全国選抜弓道大会応援観戦報告(31E:原田憲司氏)
5号	H9(1997)/1/25	A3版縦6ページ	H8年度・東京豊工工会総会報告、寄稿・「40年振りのおべんきょう会」(31E:小野宗男氏)
6号	H9(1997)/6/28	A3版縦4ページ	難病ベーチェット病との闘い(44R:垂水平和氏)、第26回春高バレー応援観戦報告(34C:染谷武雄氏)
7号	H10(1998)/1/1	//	ドラム修行は世界がステージ(45T:のなか悟空氏=ジャズドラマー)、定時制全国大会に母校バスケ、バレー、ソフトテニス部が出場(32M:衛藤尊光氏)
8号	H10(1998)/5/30	//	H10年賀詞交換会開催報告(30E:岩城宏一氏講演)、第29回春高バレー BEST8 進出(32M:衛藤敬光氏)
9号	H10(1998)/12/26	//	H10年度東京豊工工会総会開催報告、東京豊工工会ホームページ開設のお知らせ、かながわ「ゆめ国体」で、バレーとウエイトリフティング部入賞
10号	H11(1999)/6/5	//	H11年賀詞交換会開催報告(ホームページを映像で紹介⇒31E:本田稔基氏、総会出席者からのひと言の紹介)、春高バレー10年連続10回目の出場
11号	H11(1999)/12/25	広報委員会 担当:山崎 弘幸(36M)	H11年度東京豊工工会総会開催報告、母校・本部だより(本部専務理事 35C:平野賢治氏)
12号	H12(2000)/5/27	//	H12年賀詞交換会開催報告、投稿:母校創立100周年(H13年)に向けて(利根本部会長、寺下母校校長)、大分高友会のけん引車豊工会(竹田高校 OB 佐藤映之氏)
13号	H12(2000)/12/25	//	H12年度東京豊工工会総会開催報告、100周年ネットワーク座談会(H12.11.16)開催、記事:H12年秋の叙勲で授章(32E 小野邦芳氏)

発行号	発行日	発行責任者 編集担当者・体裁	記事の概要 (話題・人物・イベント他)
 			
14号	H13(2001)/5/25	//	H13年賀詞交換会開催報告、オペラ歌手：馬場真二氏 (55R) の後援会発足、第1回記念ゴルフ大会の開催報告 (会長 29M：衛藤忠弘氏)
15号	H13(2001)/12/20	広報委員会 担当：守田 晶一 (42A)	H13年度東京豊工会総会開催報告、母校創立100周年記念式典盛大に挙行 (記念講演：40T 刈谷俊助氏)、応援記事：横浜ベイスターズ入団の内川選手 (H12E) に期待
16号	H14(2002)/5/25	広報委員会 担当：守田 晶一 (42A)	特集記事：母校創立100周年 (写真：歴代の校舎、在校生・OB部活動の活躍記事、六科の実習点描)、随筆「我が人生に占める高校生活」(32K：有吉修身氏)
17号	H14(2002)/12/14	広報委員会 担当：守田 晶一 (42A)	H14年度東京豊工会総会開催報告、記事：H14年度建築科夏季研修会、第2回ゴルフコンペ、第3会釣行開催、第3回東京お化けの会開催 (30K：小野義雄氏)
18号	H15(2003)/5/25	A4版8頁、 表紙イラスト： 母校建築科 吉田先生	H15年賀詞交歓会開催報告、記事：東京豊工会 東京支部の歴史 (大嶋計美氏：18M)、横浜スタジアムに東京豊工会専用ボックス2席確保 (32K：立川貴士氏)、建築科部会の事業について (43A：長木正次氏)
19号	H15(2003)/12/25	広報誌担当：守田晶一	H15年度総会開催報告、新旧会長交代挨拶 (姫野富雄氏→後藤忠弘氏)、新役員紹介、建築科研修会報告 (42A：守田晶一氏)、母校部活動紹介
20号	H16(2004)/5/25	//	H16年賀詞交換会報告、東京豊工会学校訪問日程 (講演者7名)、「ダイヤモンド励ましの会」開催 (32K：有吉修身氏)、建築科夏季研修会の予定
21号	H16(2004)/12/23	//	H16年度総会報告 (記念講演：荒川英敏氏：37R)、東京豊工会学校訪問報告、拡大東京・大分高友会開催 (32R：岐部寿一郎氏)、建築科夏季研修会報告
22号	H17(2005)/5/20	//	H17年新年会報告、東京豊工会学校訪問計画、建築科夏季研修会計画、母校修学旅行科別研修報告
23号	H17(2005)/12/23	広報誌担当：荒川英敏	H17年度総会報告 (記念講演：平山一政氏：30E)、東京豊工会学校訪問報告 (32M：衛藤敬光氏)、電気通信科・電子科創設60周年記念式典開催 (大分) (37R：荒川英敏氏)
24号	H18(2006)/5/20	//	H18年新年会報告、春高バレーベスト16進出、第3回母校里帰り講演計画 (32M：衛藤敬光氏)、建築科夏季研修会計画 (42A：守田晶一氏)、母校修学旅行生研修見学会実施
25号	H18(2006)/12/23	後藤忠弘 (29M)・広報委員会 荒川英敏 (37R) A4縦12頁	総会講演(前参議員 27E：長谷川清氏)、湘南会発足 (35E：藤沢孝氏)、高友会懇親旅行 (32M：衛藤敬光氏)、第3回母校里帰り講演会報告 (36TA：鷺見元吾氏)

【広告】 広告のご掲載有り難うございます。情報を発信し、活用してニーズを満たす。

## 東京豊工会

会 長 岐部 寿則 (昭39 電子)

幹事長兼副会長	守 田 晶 一 (昭42 建築)	副 会 長	竹 中 重 信 (昭45 電気)
副幹事長	村 谷 憲 一 (昭40 機械)	副 会 長	安 部 明 信 (昭41 電子)
副幹事長	向 田 浩 澄 (昭54 電気)	副 会 長	安 藤 寅 生 (昭39 土木)
会計兼副会長	石 原 満 喜 一 (昭38 化学)	副 会 長	山 村 浩 (昭37 定電気)
会計監査	森 崎 重 喜 (昭34 化学)	顧 問	藤 沢 孝 (昭35 電気)
会計監査	久保田 学 (昭53 電子)	顧 問	利 光 憲 士 (昭36 土木)
副 会 長	岡 地 祐 司 (昭46 機械)	顧 問	三 重 野 敏 行 (昭38 電気)

大分工業卒業のみなさまの会費納入により活動がささえられています。よろしくご協力をお願いします。

### 一般社団法人 大分県立大分工業高等学校同窓会 (豊工会)

〒 870-0948 大分市芳河原台 12 番 1 号

会 長	41 M	赤 嶺	昭
副 会 長	41 M	園 田	重 信
〃	36 E	高 木	洋
〃	37 R	川 邊	正 俊
〃	45 C	奈 須	宏 二
〃	45 K	釘 宮	正 昭
〃	51 A	利 根	三喜生
専務理事	54 C	小 笹	修 広
副専務理事	52 E	廣 川	収 造
会計理事	51 A	伊 藤	啓 記
監 事	41 A	豊 島	範 幸
〃	47 E	仲 摩	時 夫

### 東京・大分高友会

県内各高校の同窓会活動を  
活発にし大きな輪を作ろう

相談役 守 田 晶 一 (42A)

TEL・FAX 049-243-5640  
E-mail morixmori@tbz.t-com.ne.jp

### 豊工会員のたまり場

### こつこつ庵

097-537-8888

大分合同新聞社 裏側

(31E 関東会)

横浜中華街・広東料理

## 順 海 閣

本館 横浜市中区山下町 147 電話 045-681-1324

豊工会員 歓迎

<http://www.junkaikaku.co.jp>

電通・電子科の親睦会

### 「Rの会」

## 電子

新しく発足致しました、気軽にご参加下さい。

事務局 安部 明信 (昭41年電子)

〒 243-0003 神奈川県厚木市寿町 2-2-6-405  
Email abechic4191@yahoo.co.jp

東京豊工会電気科有志の会

### 「豊工雷会」会員募集

会 長 若杉實生 (29E)  
副会長 平山一政 (30E) 三重野敏行 (38E)  
幹 事 井上克明 (31E) 藤沢 孝 (35E)  
向田浩澄 (54E) 高橋周孝 (41E)  
竹中重信 (45E)

申し込み事務局 竹中重信(45E) 迄

〒 285-0831 佐倉市梁井野5-58-3

TEL:043-462-5330 Email:shrs-t@catv296.ne.jp

東京豊工会・機械科幹事

副幹事長	村谷 憲一 (S40)
副 会 長	岡地 祐司 (S46)
幹 事	萩尾 征雄 (S34)
幹 事	此本 安伸 (S35)
幹 事	若杉 眞成 (S35)
幹 事	引田 忠義 (S36)
幹 事	河野 憲一 (S36)
幹 事	山崎 弘幸 (S39)
幹 事	安部 俊雄 (S39)
幹 事	安部 秋弘 (S40)

漏電で困ったら一声を！  
**本田電氣管理事務所**

本田 稔基 (31E)

〒343-0806 埼玉県越谷市宮本町 5-7  
 電話 048-962-6387  
 携帯電話 090-3137-9220

**東京お化けの会**

楽しい日々を目指す我らの会

採鉱冶金科・冶金科・工業化学科・化学工学科

会長 川住哲美 (33K) 連絡先：TEL048-861-8837  
 池辺庸夫 (28K)・有吉修身 (32K)・森崎重喜 (34K)  
 岡崎成美 (35K)・原田貞男 (36K)・小山俊和 (37K)  
 山村則義 (38K)・岩田雅彦 (38K)

リフォームから新築まで

株式会社 **岡地 建 工 社**

リフォーム新築をお考えの方、是非ご相談下さい

一級建築士 取締役 岡地 祐司 (46M)

〒221-0005 横浜市神奈川区松見町1-7-3 TEL 045-421-2544 FAX 045-421-2545

合同会社 **O T S**

電気通信工事 (ケーブルTV)

執行代表 岐部壽則 (S39R)

〒244-0804 横浜市戸塚区前田町 1254-10

TEL 045-392-5712

**毘沙門会**

土木科卒の皆様方の親睦会

会長 綿貫元恵 (37C)  
 顧問 大石 潔 (30C)  
 事務局 安藤寅生 (39C)  
 事務局 山下藤則 (39C)

**福岡県豊工会北九州支部**

支 部 長	山崎憲次郎	S42	電子
副 支 部 長	阿部 一生	S33	土木
副 支 部 長	首藤 道泰	S35	建築
副 支 部 長	山崎富士夫	S47	化学
副 支 部 長	榎 正寿	S56	機械
副 支 部 長	高柳 俊治	S62	電子
理 事	大久保賢一	S47	化学
会 計 幹 事	新山 政夫	S34	機械
会 計 幹 事	江藤 守	S39	電気
懇親会幹事	川野ひさを	S40	化学

**豊工会福岡支部役員**

顧 問	佐藤元一 (33R)		
	佐藤忠男 (41A)	大塚義憲 (41R)	
支 部 長	大末精一 (40M)		
副支部長	黒崎健一 (43K)		
会 計	村上 博 (47A)		
事務局長	山崎龍二 (46K)		
理 事	岑 定 (41K)	牧野俊二 (43C)	岐津 勝 (43A)
	藤川光廣 (45M)	足立俊美 (49C)	塩月淳一 (49C)
	渡邊智晃 (50E)	後藤清正 (53C)	佐藤誠二 (H5A)
会計幹事	渡會哲夫 (46E)	沓掛武志 (63R)	

**広告の募集**

年一回発行の東京豊工会 会誌

企業の紹介 趣味のサークル 掲載をお待ちしています

1 枠 縦 5 c m × 横 9 c m **10,000 円**  
 2 枠 縦 5 c m × 横 18.7 c m **20,000 円**

連絡先 東京豊工会 副会長 広告担当 **山村 浩 (37TE)**  
 TEL・Fax 046-253-6662

企業の紹介、趣味のサークル、  
 豊工会員仲間の会、掲載をお待  
 ちしています。



## 毘沙門会の近況報告

土木科卒の「毘沙門会」は第6回目を迎えますが、今年も4月に例年の通り渋谷の「サカノバگران」で開催を予定していましたが、事務局で相談の結果、コロナウィルスの蔓延防止対策で今回も中止とし、

コロナウィルスの終息の様子を見ながら再度日程を決める事といたしました。その折にはまた皆さん方にご連絡を致しますので、それまで皆さんお元気でお過ごし下さい。そして超元気なお顔で再会しましょう。  
(39C 安藤寅生 記)

## 湘南会

### 湘南会 「忘年懇親会」



令和2年度忘年懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止しました。

今年も現在コロナ禍ですが、11月又は

12月に忘年懇親会を開催する予定です。湘南会会員も高齢化が進んでいます。後何年開催できるか分かりません。今元気な時に美味しい料理を食べ、酒を酌み交わし、近況を語り旧交を温めましょう。会員の皆様、是非参加いただきますようお願いいたします。又湘南地区以外の方々の参加も大歓迎です。心からお待ちしております。

(写真は2015年 第16回 懇親会より)

湘南会 会長 藤沢 孝 (35E)

## 霜月会

毎年霜月の土曜日に九段下のホテルグランドパレス「千代田」で開催してきた霜月会は新型コロナ禍で中止状態にあります。今秋霜月には開催をと願っています。霜月会は会員有志が霜月に懇親目的に会食をしていたことが始まりのようです。特段の企画を設けることもなく、折々の話題にふれ談笑し、近況を語り、旧交を温めています。会員の皆様の参加を心待ちしています。例年ここに貼り付ける参加者

の写真はありません。残念でなりません。

さて、世間の話題はGo To、総理のお子様等々からワクチン接種とオリンピック開催に移っています。ワクチン接種順位・第3位の我ら高齢者の接種時期は当初3月中旬に割り当てられていたが4月中旬にずれ込む見通しのようだ。我が国の接種率は0.6% (3月中旬)。この状況では4月接種どころかオリンピック(中止あるいは終了)後かも知れません。願わくは、ワクチン接種完了、会食OKというところです。

会長 山本邦彦 (32A) 幹事 森崎重喜 (34K)

## 東京お化けの会

東京お化けの会(大分工業の採鉱冶金科・工業化学科・化学工学科卒業生)の皆様、新型コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか?

昨年4月から緊急事態宣言の発動などにより移動を制限され、大分県への帰郷などもままならず、ステイホームの日々を送られているのではないかと思います。

東京豊工会も大同窓会や親睦行楽会などの中止、母校の全国大会参加への応援機会もなく残念な一年

となりました。

しかし、豊工会会員の集いの再開に向けて、役員一同は活動を進め続けています。

その力となる会員皆様の支援と協力により、本年度は会誌の50周年の発行を迎えることができました。

われらお化けの会も親睦の集いを再開できるよう、川住会長のもとで計画を進めたいと考えますので、コロナに負けることのないようお気をつけ下さい。

東京豊工会副会長 化学科担当 石原満喜一

## 電通/電子科親睦会「Rの会」のご案内



昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大のため第3回「Rの会」が中止になりました。

まだまだ、コロナは終息していませんが、ワクチン接種

がすすめばコロナも終息することを信じ、今年度(令和3年)例年通り11月最終土曜日に予定しています。コロナの影響でいろいろ大変だと思いますが、しばし日々の雑事を忘れ、皆様お誘いあわせの上、ご来会頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年2月24日

Rの会事務局 41R 安部明信

「雷会」も昨年はコロナ禍で休眠状態でしたが、今年は2年ぶりに実施する方向で以下の計画を立てました。今後も流動的な要素がありますので、日帰りコースと1泊コースの2案検討中です。皆様の積極的な参加をお待ちします。催行には不確定要素が多いため、実施の可否は予定日の前々月末までにお知らせいたします。

1. 日帰りコース

首都圏外郭放水路 見学 (埼玉県春日部市)

★見学コース：「深部を探る ポンプ堪能コース」(約100分) 予定

2. 1泊コース

大谷石地下採掘場跡・大谷資料館 見学 (栃木県宇都宮市)

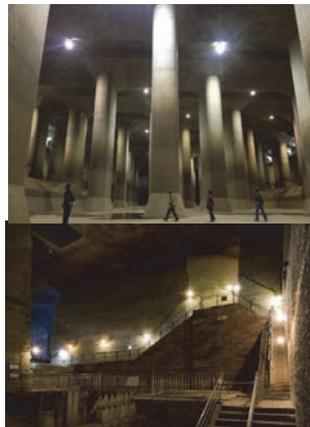
★見学コース：地下採掘場跡等と大谷寺 (大谷観音)

宿泊地：鬼怒川温泉を予定

(注) 実施時期と催行判断の期限について

- ① 9月に実施の場合は、7月末迄に
- ② 10月に実施の場合は、8月末迄に判断いたします。

雷会 会長：若杉實生 事務局：竹中重信



東京豊工会ホームページ紹介

東京豊工会で検索してアクセスしてくださいね



東京豊工会ホームページ担当 向田浩澄 (54E)

- ★東京豊工会や母校関連のニュースやお知らせ
  - ★豊工会本部、支部関連のニュース
  - ★皆様の近況や独自の活動の様子等々を逐次掲載しております。そして、
  - ★住所変更や連絡先の変更届け
  - ★東京豊工会へのご意見・ご要望等もトップ画面から承ります。
- 今後も「東京豊工会 HP」を、是非ご活用下さい。



私の経歴紹介

後編・初めての海外プロジェクト現場責任者

峰尾幸一さん

(41E・元日本揮発油勤務)

初めての海外プロジェクト現場責任者

昭和63年5月初めに工事開始、昭和64年(平成1年)7月末の納期で、クウェート国営石油会社のKNPCから「OFF-GAS 冷凍設備取替工事」を受注した。既設設備を撤去し、そこに新しい設備を建設する、設計/調達/建設一括で30数億円のプロジェクトであった。その現場責任者を初めて拝命した。これは、次に控える数百億円の大型プロジェクトの受注を目指した、いわば繋ぎ目的のプロジェクトであった。それまでの5年半に亘る当地の製油所建設工事駐在の終盤時に決まったもので、当初の見積もり(他の人が担当)が甘く、最初から赤字が予想されていた。先の5年半に及ぶ仕事を終えて、いったん横浜本社に帰り、当時の実績から建設工事コストの見直しを行った。「建設工事予算約6億円に対し9億円かかる」との報告を部長に上げた。終わってみると、ほぼ見直した建設コストで終わっていた。駐在に際し部長から「お前1人でやれ、建設部からの日本人の応援は人がいないので出せ

ない。もしどうしてもなくなって応援が必要となった場合だけ連絡しろ、ただし遅すぎないように」と言われ、途方に暮れてしまった。度胸を据えて「1人でやってやろうじゃないか」と心を奮い立たせた。それまでの各工事分野で活躍したスタッフを1人ずつ選りすぐった。土木/配管/計装はフィリピン人を、電気と検査はイギリス人を、事務はインド人を採用して工事を開始した。工事は難航を極めた。既設埋設ケーブルの処置が大きな問題となった。一本一本、検査機器でチェックし電流が流れていない事を確認後、切断して工事を進めた。幸運にも事故は1件も起きなかったが工事進捗が思うように伸びず、会議で客から対策を求められたが、いかんせん予算がない。下請け業者に作業員の増員を要求するもうまく行かず、有効な策が取れなかった。残業も休日作業も許可してもらえず、客からの協力が全く得られない状況が続いていた。しかしながら、配管工事の段階に入って状況が一変した。其の頃から工事進捗度が回復基調になり、一方で日揮

担当エリアに隣接する客側の既設内の工事が遅れていた。日揮の仕事が上手く行きだした一方で、客の工事部分の問題となり、日揮にその仕事を依頼して来る始末であった。それは丁重にお断りした。それ以来、形勢が逆転し、客からの督促もクレームもなくなっていた。我々は粛々と工事を進め、納期通り工事を終えて、客側の工事完成を待たずに現場を引き上げることが出来た。日揮側の工事完了記念のパーティをクエートシティのホテルで開催した時、客のプロジェクトマネー

ジャーから感謝の言葉を頂いた。初めての現場責任者であったこと、大変な工事であったことだけに、達成感を人一倍感じたことを覚えている。蛇足ながら、帰国の1年後の平成2年8月初めにイラクによるクエート侵攻があった。帰国が1年遅れていれば、あわや戦争に巻き込まれるところであった。



退職送別会にて(中央)

## 故鷺見元吾(36TA)さんを偲んで

鷺見さんは、東京豊工会の会員・役員として特に母校支援・貢献活動に尽力される一方で、「神奈川大分県人会会長」・「豊の国特命 かばす大使」・「特定非営利活動法人 Woodcraft 理事」等々、幅広く世代・社会・組織の隔たり無く永年に渡り貢献されました。しかし、誠に遺憾ながら昨年9月、病に倒れご逝去されました。会誌発行に当たり、生前親交が深かった37TEの山村さんに、その思い出を綴っていただきました。

### 鷺見さんとの思い出 山村 浩(37TE)

18年前妻と御自宅に招待された時、近々にマンションを改築して16歳年下の妻を迎えて同居すると話され、のちに新居で奈々美夫人を紹介された。看護師部長とのこと。後日ダイマチの新築祝に夫婦で呼ばれ寸志を出した。又、豊工会総会に夫婦で順海閣に参加されると、料理がとても良いと妻の評判が良かったので鷺見さんの株が急上昇しました。私地元の相模の大風まつりに県人会会員30人を連れて来られ、副実行委員長の私を盛り上げてくれました。

又、地元の芝さくら祭りに鷺見さん夫婦と森崎さん夫婦を御招待し、料理を食べ放題とお酒の飲み放題と米軍基地の軍楽隊のジャズ演奏、相武台高校音楽部の演奏を聴いて楽しんでいただいた。又春高バレーの応援に妻と代々木体育館に行くと、応援が素晴らしく団結力の凄さを感じたと妻は感心していましたよ。又、定時制の大分県代表の野球、卓球、バスケット、柔道と後輩達の試合の応援に鷺見さんと共に参加しました。

豊工会役員会に鷺見さんの推薦で幹事に任命され、グランドパレスホテルで会議と総会に参加して、終了後の懇親会がお楽しみとなりました。4年前から広告担当の副会長に任命されました。又、鷺見さんが神奈川大分県人界会長になられましたので、幹事の私が副会長に任命され会長をサポートすることになりました。

県人会役員会に出席して横浜市内の主に関内、伊勢崎町、湾内クルージング等で皆さんとの交流会があり、たいそう楽しく過ごせました。

鷺見さんの行く先々で歓迎されて凄く居心地が良いのですが、かなりお金を投資されたと思います。ある県人会総会に夫婦で参加した時に、妻に鷺見さんが言いました、「俺は妻に食わせて貰っているヒモ生

活だよ」と。その時私は鷺見さんの体調が良くないと感じました。その後県人会90年総会が終えた後に通院し、検査の結果が思わしくなく再手術することになりました。

昨年6月頃鷺見さんから電話があり、「俺の葬式の時に豊工会の皆さんの受付をして欲しい」と、依頼があり了解しました。その後奈々美夫人からの電話で、8月6日に退院してマンション帰りましたとのこと。夫人の誕生日を祝う為でした。お孫さんに囲まれて其れは嬉しそうだったようです。

5日後の11日に永眠され、9月26日に川崎市の万福寺にてのお通夜で、私は受付をして約束を果たすことが出来ました。豊工会役員他10数名が参加されました。コロナ禍で非常時にも拘わらず、多くの方が弔問に来られました。鷺見さんの日頃のお付き合いの凄さを改めて感じた次第です。奈々美夫人におかれましては長年に渡って元吾様に尽され、大変ご苦労様でしたと申し上げます。



米軍基地 軍楽隊メンバーと共に



定時制野球部の全国大会出場の応援にて

### 東京豊工会 会員逝去記録

最近の3年間で逝去の確認がされた会員は下記の通りです。

(2018～2020)

2021.03.07 作成：村谷

No.	卒年	氏名	逝去年月日	
1	昭29 機械	後藤 忠弘	2018.02	逝去
2	昭35 工化	工藤 豊	2018.02	逝去
3	昭20 建築	池邊 安夫	2018.3.29	逝去
4	昭38 建築	永野 修治	2018.12	逝去
5	昭36 電通	佐保 邦博	2019	逝去
6	昭18 採冶	式田 耕三	2019	逝去
7	昭41 電子	松原 紀	2019.1.3	逝去
8	昭40 電子	村上 幸則	2019.01	逝去
9	昭36 電気	北村 信幸	2019.04	逝去
10	昭37 電通	山本 英準	2019.7.5	逝去
11	昭38 土木	荷宮 修詞	2019.7	逝去
12	昭35 機械	此本 安伸	2020.05	逝去
13	昭36 建設	鷺見 元吾	2020.08.11	逝去
14	昭35 電気	矢野 重紀	2020.11.25	逝去

# 令和3年度 東京豊工会年会費・活動賛助金納入のお願い



東京豊工会 会員各位

会も4月から新年度となり、年会費並びに活動賛助金を、会員の皆様にご負担いただき、会の円滑な活動を進めて参りたいと考えています。つきましては、令和3年度の年会費・活動賛助金につきまして、同封の振込用紙によりご入金賜ります様、お願い申し上げます。

【追伸】会費振込には、ATMを利用されますようお願い致します。

ATMの利用時では152円の手数料ですが、窓口振込では203円にアップします。

昨年度の実績では134名の方が窓口からの振り込みで、豊工会の手取りが約7千円減少致しました。

尚、ご不審な点等がございましたら、下記の会計担当まで、ご連絡くださいますよう御願ひ致します。

平成3年5月吉日

東京豊工会会長 岐部寿則 (39R) 会計担当・石原満喜一 (38K)

住所：〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺3-9-3

TEL&FAX 044-952-3790

## 【会誌送付について説明】

会誌の送付につきましては以下のルールで送付しています。

1. 73歳以下、会員全員
2. 74歳以上、この3年間に会費納入があった方

従いまして、74歳以上の方で3年間に会費未納としている方には、会誌をお届けしていません。

友人において、会誌が届かないと言う方がいましたら、会計担当へ連絡するようお願いください。

また、会費を納めていない方がいましたら、このルールをPRいただくようお願いいたします。【東京豊工会】

## 令和2年度 会費納入者・賛助金提供者リスト(敬称略) R2.4.1~R3.3.31

口数は賛助金口数を表す(1000円/1口)

卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数	卒年	氏名	口数									
<b>建築科：16名</b>			<b>電気科：71名</b>			E35 櫻井 広志			E45 野上 和生			K46 渡邊 俊二			M35 片山 健司											
A18	笠木 寛	3	E17	柴家 茂	1	E35	小名川征生	6	E45	竹中 重信	2	K46	秦 修一		M35	久多良木千秋	1	<b>電通・電子科：26名</b>								
A26	谷脇 福穂	8	E29	渡邊 哲男		E35	土田 恭愛	1	E45	板井 善一	1	<b>機械科：52名</b>			R28	佐藤 信之										
A32	山本 邦彦	3	E29	工藤 政文	3	E35	横溝 雄三	1	E47	平田 裕次		M27	今吉 周一		M36	久々宮洋典		R28	姫野 富雄	3						
A33	高橋 友治	2	E29	若杉 實生	1	E36	藤澤 香	1	E47	竹下 隆三	1	M28	北山 博宣		M36	高島 英章		R29	鎌石英太郎							
A38	篠田 正弘	2	E29	中原 敏行		E36	麻生 茂		E51	竹下 信行	1	M37	甲斐 秀人		M37	甲斐 秀人		R31	小手川和洋	1						
A38	森山龍三郎		E29	足立 五男	2	E36	陶山 洋		E53	松下 一司	2	M30	岩尾 昭人	1	M38	池辺 貞広		M38	池辺 貞広		R33	高瀬 拓士	8			
A39	大久保 昂	1	E29	上田 靖雄	1	E37	阿部 義信	1	E54	向田 浩澄	3	M32	二宮 兼重		M38	鈴秋 克介	3	M39	江戸 重和		R34	大野 悟	1			
A42	守田 晶一	3	E30	高橋 憲一	3	E37	秋吉 隆美	1	E55	梅木 浩朗	1	M32	衛藤 敬光		M39	江戸 重和		M39	松尾多見也	1	R34	椎原 義昭	1			
A43	岩尾 高良	3	E30	大田 浩司	2	E37	佐々木真一	3	E62	高野 正将	1	M32	石川 勝一	1	M39	安部 俊雄	1	M39	安部 俊雄	1	R35	須賀 昭典	2			
A43	白坂 哲治	3	E31	小野 敏		E38	三重野敏行	2	TE34	後藤 全正	1	M33	阿部 政信		M40	村谷 憲一	3	M40	村谷 憲一	3	R36	是松 義行	2			
A43	長木 正次	8	E31	井上 克明	3	E38	山口 憲治		TE37	山村 浩	3	M33	近田 修		M40	榎 健二	1	M40	榎 健二	1	R36	伊東 俊幸	1			
A44	平山 則男	1	E31	熊谷 覚志	1	E38	野中 勝		TE37	元永 詔八		M33	荒金 敏夫		M41	三重野高視		M41	三重野高視		R37	釘宮 節男	3			
A44	二宮 亨徳	3	E31	栗林 孜		E38	平井 敏雄		TE50	矢野 建喜	1	M33	後藤 有三		M41	河野 要人	2	M41	河野 要人	2	R37	後藤 真美				
A62	池永 誠司	2	E31	江坂顕二郎	2	E38	河野 行弘		<b>探治・化学科：16名</b>			M33	柴尾 数年	1	M41	増尾 正則	1	M41	増尾 正則	1	R37	原田 克正	3			
AH9	町田 潔		E31	高橋 勇		E38	三重 精治	1	K27	中野 英俊	1	M33	和田 治雄		M41	佐藤三生男		M41	佐藤三生男		R39	岐部 寿則	5			
TA36	鷺見 元吾	3	E31	小野 宗男		E38	橋本 達夫		K28	池辺 庸夫	3	M34	橋本 和己	1	M45	炭本 辰二	1	M45	炭本 辰二	1	R39	幸 勝宏	2			
<b>土木科：11名</b>			E33	西村 幸男		E38	橋本 達夫		K31	有田 晃	1	M34	原田 廣	1	M48	井本 国義		M48	井本 国義		R41	宮崎 忠	1			
C30	大石 潔	3	E34	安部駿太郎		E38	森田 雅巳	1	K32	有吉 修身	1	M34	田代 久人		M46	岡地 祐司	8	M46	岡地 祐司	8	R41	長谷攸三郎	4			
C34	染谷 武雄	2	E34	川俣 忠紀	1	E38	秋吉 寿人	1	K33	川住 哲美	1	M34	矢野 正義	1	M47	手島 敏夫	1	M47	手島 敏夫	1	R41	安部 明信	1			
C36	房前 紀義	1	E34	田村好史郎		E39	秋吉 寿人	1	K34	小倉 晃一	0	M34	菊池 照弘		M48	小林 博美		M48	小林 博美		R43	伊東 俊治				
C36	利光 惠士	3	E34	工藤 素弘	1	E39	永沢 利夫	1	K34	小倉 晃一	0	M34	濱田 一男	1	M51	片岡誠一郎	1	M51	片岡誠一郎	1	R45	森 多加志				
C37	綿貫 元憲	1	E34	達見 潔	1	E40	木村 潤一	2	K34	森崎 重喜	3	M34	萩尾 征雄		M55	沼田 真清	8	M55	沼田 真清	8	R46	森 安信				
C38	吉良 幸一		E35	小手川武彦	3	E41	高橋 周孝	1	K35	岡崎 成美		M35	加川 巖信		TM36	佐藤 徳治	5	TM36	佐藤 徳治	5	R50	藤尾 浩三				
C39	安藤 寅生	3	E35	河野 幸一	1	E41	上田 和敬	2	K37	三浦 清宏		M35	河合 孝一		TM37	秦 範男	8	TM37	秦 範男	8	R52	土師 康孝	1			
C39	山下 藤則		E35	安波 雅朗	2	E41	峯尾 幸一	5	K38	石原満喜一	3	M35	若杉 眞成		TM43	高倉 岳男	2	TM43	高倉 岳男	2	R53	久保田 学	2			
C43	阿部 洋一	3	E35	後藤 明治		E43	間野 健	1	K39	広瀬 貞夫	1	M35	清水 純一								RH07	岩本 仁				
C45	野尻 俊雄		E35	藤沢 孝	3	E43	平野 文明	1	K42	但馬 三二	8	M35	倉掛 敏行													
C47	蠣原 実		E35	堀江 準司	1	E43	河野 公生	1	K42	塚本 紀幸		M35	井田 庸雄	1												
						E45	梅木 尊則	1	K44	足立 友秀	1	M35	東 泉													
												会費納入者：192名														
												賛助金納入者：135名														

## 会計監査就任にあたってのご挨拶

久保田 学 (53R)



会計監査を拝命いたしました。会員皆さまのご協力と先輩諸氏のご指導とを得て職務を遂行いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。私事ですが、居住マンション管理組合の監理担当となりました。会計監査や監理、託されたそれぞれの職責

を果たします。更に今年3月、43年間勤務した富士通の営業部門の大きな変革を機に退職し、すぐさま浅草のマンション管理員となりました。居住者の快適な生活環境の維持に貢献し、笑顔で過ごしていただけるマンション管理業務の遂行を目指します。副次的に狙うのは、昨年4月からの在宅テレワークで育った、腹部のスリム化です。加えてマンション管理士の取得です。

## 会員懇親行楽会のお知らせ

東京豊工会の行事として会員相互の懇親行楽会を行ってきましたが、令和元年9月20日の「豊洲市場見学会と隅田川クルーズ」を実施して以来、今日まで開催が順延となったままで推移をしています。それもこれも全て「新型コロナウイルス」の影響で皆さんが集まれる状況にありません。今後も中々先が読めない状況ですが、今回は新宿区のオリンピック施設を中心に見学会を企画しています。「コロナ禍」が早く終息に向かい皆さんが集まれる日を楽しみにしています。

詳しくは次回の総会開催時に再度ご案内を致します。  
(36C 利光憲士 記)



## 住所変更時のご連絡のお願い



会員の皆様へお願い。住所変更した場合、お手数でも下記のFAX又はメールアドレスにご連絡下さい。会員住所録は会員同志を結ぶ絆の「会誌」の発送及び総会の案内用として大切なものです。

【住所変更の際の連絡先】 東京豊工会会員名簿担当 副幹事長 村谷憲一 (40M)

TEL/FAX 047-457-2450 E-Mail [kk.murayhtc\\_b@gf7.so-net.ne.jp](mailto:kk.murayhtc_b@gf7.so-net.ne.jp)

または「東京豊工会ホームページ」から連絡できます。

## 編集後記



東京豊工会会誌は、平成6年(1994)の創刊以来幾度もの変遷を経て、今年記念の50回目の発行を迎えることが出来ました。これまで編集・発行に携われた歴代の役員の皆様や記事の基となるニュース・情報・資料等の提供にご協力頂いた、会員や関係者の皆様に感謝申し上げます。今後も引き続き会員相互の交流や情報共有のツールとして、より意義のある会誌を目指して取り組んで参ります。また会員の皆様からの情報や話題、ご要望等も随時お待ちしておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

東京豊工会会誌担当 副会長(電気科) 竹中重信 〒285-0831 佐倉市染井野 5-58-3

Eメール: [shrs-t@catv296.ne.jp](mailto:shrs-t@catv296.ne.jp) 東京豊工会ホームページ: [www.hp8.jp/t-hokokai/](http://www.hp8.jp/t-hokokai/)